

平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デイトナ
 コード番号 7228 URL <http://www.daytona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 紳一郎
 (氏名) 中嶋 哲司

TEL 0538-84-2200

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	2,784	0.2	139	5.0	139	7.6	83	14.3
26年12月期第2四半期	2,778	△4.0	132	△19.2	129	△24.8	73	△29.7

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 76百万円 (7.1%) 26年12月期第2四半期 71百万円 (△28.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	39.83	39.58
26年12月期第2四半期	34.86	34.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	5,180	2,464	46.5
26年12月期	4,946	2,417	47.6

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,408百万円 26年12月期 2,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,090	7.7	317	△9.0	301	△16.2	199	△6.6	94.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	3,602,600 株	26年12月期	3,602,600 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期2Q	1,497,972 株	26年12月期	1,497,972 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	2,104,628 株	26年12月期2Q	2,104,628 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結36会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の良化など、緩やかな景気回復基調が続きました。

二輪車業界では、春の訪れと共に、各地でイベントが開催され、休日には多くのライダーの姿も見られるなど、本格的なバイクシーズンを迎えました。

当社グループにおいては、国内拠点卸売事業の売上高は第1四半期に引き続き順調な推移となりました。小売事業では在庫の削減、経費の圧縮など推進しましたが、引き続き厳しい競争環境の中、売上高が前年を下回り、利益もマイナスとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は27億84百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益1億39百万円（前年同四半期比5.0%増）、経常利益は1億39百万円（前年同四半期比7.6%増）四半期純利益は83百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、新商品投入効果や取引先の新規出店、改装による商品導入などが続き、販売面は順調な推移となりました。また費用面では、施設の修繕工事などが下期にズレ込んだことで利益を押し上げることとなりました。この結果、売上高は19億61百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は1億77百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

現地卸商への出荷増、また新商品の投入などにより、売上高は69百万円（前年同四半期比25.7%増）となりましたが、利益面では新商品立ち上げや、人員の増員などで販管費が増加、為替の差損などにより、セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント損失18百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、地域競合店やWeb通販業者等との厳しい競争環境が続いております。昨年からの在庫の圧縮や経費の削減による筋肉質な体制作りを進め、今期は顧客にとっての存在価値を高める施策を推進中ですが、販売面の回復が鈍く、当第2四半期連結累計期間においては売上高7億82百万円（前年同四半期比9.0%減）、セグメント損失は38百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

[その他]

太陽光発電事業は本社屋上設置の300kWと、本社敷地内地上設置の500kWシステム（前年1月末稼働開始）の合計800kWとなります。当第2四半期は4月が天候不順により発電量が前年同月を20%以上下回ったこともあり、売上高は22百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益は減価償却費の減少により8百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9.4%増加し、26億39百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億69百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.3%増加し、25億40百万円となりました。これは、有形固定資産が3百万円、無形固定資産が5百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億34百万円増加し、51億80百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ27.6%増加し、18億39百万円となりました。これは、短期借入金が2億40百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19.3%減少し、8億77百万円となりました。これは、長期借入金が1億46百万円、社債が58百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加し、27億16百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、24億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高については、おおむね予想通りの推移となっておりますが、施設の修繕工事費用など、上半期に予定していた約60百万円の費用発生が第3四半期以降にズレ込んだことで、当初想定より利益が増えております。ただし第3四半期以降には、これらの費用も順次発生する見込みですので、現時点では通期予想に修正はありません。第3四半期以降の状況を見ながら、必要により修正発表を検討してまいります。

なお、今後の円安の進行状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因など、予測が困難な要因により、業績の変動が発生する可能性があります。

※平成27年8月3日付「第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ」にて第2四半期累計期間における業績予想の差異について発表しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,946	551,637
受取手形及び売掛金	426,864	596,588
たな卸資産	1,286,418	1,316,975
その他	157,226	185,361
貸倒引当金	△9,245	△10,570
流動資産合計	2,412,211	2,639,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	691,180	692,250
土地	1,483,945	1,483,602
その他(純額)	274,367	276,907
有形固定資産合計	2,449,493	2,452,760
無形固定資産	44,017	49,712
投資その他の資産		
その他	41,229	39,302
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	40,424	38,497
固定資産合計	2,533,935	2,540,970
資産合計	4,946,147	5,180,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,457	312,810
短期借入金	878,138	1,118,401
未払法人税等	86,610	75,092
賞与引当金	16,355	22,505
その他	325,755	310,213
流動負債合計	1,441,317	1,839,023
固定負債		
社債	186,960	128,120
長期借入金	798,960	652,698
退職給付に係る負債	1,911	2,350
その他	99,201	94,328
固定負債合計	1,087,032	877,496
負債合計	2,528,349	2,716,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,454	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,365,673	2,420,044
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	2,372,180	2,426,550
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△16,837	△17,718
その他の包括利益累計額合計	△16,837	△17,718
少数株主持分	62,454	55,611
純資産合計	2,417,797	2,464,442
負債純資産合計	4,946,147	5,180,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,778,585	2,784,314
売上原価	1,756,682	1,720,850
売上総利益	1,021,903	1,063,464
販売費及び一般管理費	888,927	923,834
営業利益	132,975	139,629
営業外収益		
受取手数料	4,567	4,274
試作品等売却代	1,048	5,890
その他	3,575	4,813
営業外収益合計	9,192	14,978
営業外費用		
支払利息	9,340	8,551
為替差損	805	4,390
その他	2,564	2,402
営業外費用合計	12,710	15,344
経常利益	129,456	139,264
特別利益		
固定資産売却益	1,667	57
特別利益合計	1,667	57
特別損失		
固定資産除却損	81	-
特別損失合計	81	-
税金等調整前四半期純利益	131,042	139,322
法人税、住民税及び事業税	7,223	73,363
法人税等調整額	52,828	△11,035
法人税等合計	60,052	62,327
少数株主損益調整前四半期純利益	70,990	76,995
少数株主損失(△)	△2,389	△6,839
四半期純利益	73,380	83,834

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,990	76,995
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	97	△885
その他の包括利益合計	97	△885
四半期包括利益	71,087	76,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,477	82,953
少数株主に係る四半期包括利益	△2,389	△6,843

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131,042	139,322
減価償却費	59,798	59,136
貸倒引当金の増減額(△は減少)	425	1,325
受取利息及び受取配当金	△769	△960
支払利息	9,340	8,551
売上債権の増減額(△は増加)	△105,254	△173,114
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,825	△31,069
仕入債務の増減額(△は減少)	60,606	178,862
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,138	△22,533
その他	△10,082	△24,311
小計	77,142	135,209
利息及び配当金の受取額	768	962
利息の支払額	△10,360	△8,761
法人税等の支払額	△115,154	△84,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,604	42,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△29,209	△19,211
定期預金の払戻による収入	12,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△190,749	△34,803
有形固定資産の売却による収入	1,738	134
無形固定資産の取得による支出	△6,480	△11,742
差入保証金の差入による支出	△1,620	△34
差入保証金の回収による収入	529	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,391	△63,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	59,191	161,750
長期借入れによる収入	350,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△152,433	△222,937
リース債務の返済による支出	△5,025	△4,218
社債の償還による支出	△68,840	△58,840
配当金の支払額	△29,369	△29,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	153,522	6,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173	△1,997
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,646	△16,121
現金及び現金同等物の期首残高	380,238	395,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	272,591	379,257

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月25日 定時株主総会	普通株式	29,464	14.00	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年3月24日 定時株主総会	普通株式	29,464	14.0	平成26年12月31日	平成27年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,851,350	44,519	859,883	2,755,753	22,831	2,778,585	—	2,778,585
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,107	10,841	127	42,076	—	42,076	△ 42,076	—
計	1,882,458	55,361	860,010	2,797,830	22,831	2,820,662	△ 42,076	2,778,585
セグメント利益又は損失 (△)	148,342	△18,615	△9,171	120,556	7,329	127,885	5,089	132,975

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額5,089千円は、セグメント間取引消去1,861千円、たな卸資産の調整額2,815千円、固定資産の調整額400千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,923,389	55,813	782,862	2,762,066	22,248	2,784,314	—	2,784,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,832	13,801	135	51,768	—	51,768	△ 51,768	—
計	1,961,222	69,614	782,998	2,813,835	22,248	2,836,083	△ 51,768	2,784,314
セグメント利益又は損失 (△)	177,253	△7,387	△38,713	131,152	8,586	139,739	△109	139,629

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△109千円は、セグメント間取引消去406千円、たな卸資産の調整額△984千円、固定資産の調整額437千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。